



読字 原田 鏡

No. 710

2013/9/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0055 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会
岡山支部
〒710-8256 岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100 01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911 倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



はじめに

八月四日、長野県阿智村コミュニティ会館で、中国 残留孤児「国家賠償訴訟弁護団全国連絡会の第五十一回全国幹事会」と交流会が開かれました。

北は宮城県から南は福岡県までと全国各地から弁護士、中国帰国者、支援者など約四十人が集まりました。岡山県からは、則武弁護士親子と中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会「小林事務局次長の三人」が参加しました。

信州阿智村で開催

今回の会は、配偶者支援の解決に向け、全国の原告団と弁護士・支援者を結集して、秋の臨時国会で早期立法改正の



実現に向けて、正確な情勢の理解と、今後の適切な方針について検討すること」を目的に開催されました。また、信州阿智村で開いたのは、この地に建設された「満蒙開拓平和記念館」を見学し、中国「残留孤児」問題の原点を再確認し、「配偶者」問題の解決に取り組む決意を固めるねらいもありました。会は、米倉弁護士からこれまでの歩みと到達点について次のような報告がありました。

「これまで」の歩み

二〇〇八年四月から中国残留邦人等の「新自立支援法」が施行されました。施行後は、「残留孤児」問題の抜本解決のため、原告団・弁護団の代表と厚生労働大臣（以下厚労大臣と略す）と年一回話し合っています。二〇一〇年五月の面談で、「配偶者」支援の要望書を提出しました。二〇一二年二月の総選挙で安倍自公政権が復活し、旧与党PT（自民党の野田・中谷議員。公明党の漆原議員）に改めて強く働きかけました。二〇一三年の二月七日に与党PTが開かれ、厚労省担当者、原告団、弁護団も参加し、この問題の理解が急速に深まりました。四月十六日の第一回院内集会に関東原告団

を中心にして四百五十人が参加（岡山からは赤澤・則武・小林が参加）し、中国「残留孤児」の配偶者に対する生活支援を求めるアピールを採択しました。

六月十七日の第二回院内集会には、議員本人出席十二人（岡山から逢沢・江田議員）秘書十三人で日本維新の会を除く全政党から参加があり、署名八一、七二五筆を提出しま

配偶者支援改正法の成立をめざして 十月中旬の臨時国会が山場

した。集会に先立って行われた、厚労大臣との面談で赤澤さんは、「配偶者にも尊厳ある老後を」と直接田村大臣に訴えました。

「これまで」の到達点

現在は、与党のPTの方で法案づくりを進め、弁護団からも数次にわたり意見を述べ、厚労省とも何度か意見交換をしました。六月下旬に与党PT段階の改正法案が取りまとめられ、衆院法制局にかけられ、検討されます。

この到達点は、原告団・弁護団が丸三年にわたり粘り強く国会議員や厚労省に要請活動

を続けてきたこと及び日中友好協会など「市民連絡会」が中心に取り組んだ十万人署名運動の成果であるといえます。

最後に、小野寺弁護士から、今後の見通し、当面の取り組みについて次のような提案がありました。

今後の見通し

十月中旬に開催される臨時

国会で、「配偶者支援改正法の成立」をめざすには、多くの課題があります。

- 一、支援対象者が孤児本人でなく配偶者であること。
- 二、その配偶者が外国人で、かつ中国人であること。
- 三、現在の社会保障費削減の方向と逆方向の立法であること。
- 四、省庁（厚労省・総務省・財務省）間の調整が必要であること。
- 五、超党派の合意を得るため、各党の党内手続きはこれからであること。

これらの課題を克服するためには、配偶者にも、孤児と同



発言する配偶者

- 三、早い段階で改正案を提出できるように適切な時期に第三回の院内集会を開く。
- 四、各党の国会議員の支持を得るために、全国各地で地元議員や各政党への要請活動を強める。（とくに厚生労働委員会所属の議員には必ず要請）
- 五、地元メディアを通じてアピールすること。

おわりに

会では、長野県の配偶者の代表が「孤児である妻の祖国に帰りたい」との思いに込めて、一九九二年北京を離れ、友人、親せきと別れ、仕事をやめ、財産を処分して日本にきた。言葉がでないのに、半年で自立を求められ、自動車関連の仕事に就いた。日本での生活は苦勞が多く、中国に帰りたいと思いが、すべてを失っているのに、日本で死ぬしかない。」と中国語で話された。

最後に、現在は困ったことがあれば、生活指導員や弁護士さんが相談にのってくれるので安心です。妻と二人で、明けな夜はない」と前向きに生きていこうと、思っていると結んだ。

小林軍治

「心から『日本に帰ってよかった』と言えるために」の活用。

当面のとりくみ

韓国へ10人の旅(1)

8月2日、岡山空港から1時間半で仁川(インチョン)空港、北緯37°は新潟県あたり。

空港の入国審査で、おどろいたことに、両手の人差し指を盤上のくぼみにのせ、カメラの方をまっすぐ見なければならぬ。指紋をとられたのは、これで2度目。敗戦の次の年、アメリカ軍のCCDに就職した時、親指にべつとり黒インク?をぬつて。

実は、中国の留学生たちも岡山

山空港で、指紋とカメラの検査を受ける。聞いてはいたが入管法が去年かわつたのだ。しかし、日本の旧植民地(朝鮮、台湾)からの在日外国人はニホン人なみで、差別されている。

韓国へ10人の旅(2)

首都ソウルの中心にそびえる茶色の日本大使館。そのまへの大通りをへだてて正面に、かの慰安婦の少女像が大使館をにらむ。大使館の前には警察の大型バスが2台。

少女は椅子に腰かけて、両手をひざにおいて、だまつてすわっていた。

ソウルのとなりの広州市からバスで一時間半、ナムの家(分けあいの家)の元慰安婦たちが、少女像をかこんで水曜示威(デモ、ハングルでスヨ・シーイ)を、もう千回以上やっていると。水曜日が年に50回あると20年をこす。

日本政府はあやまらない、つぐないもしない。国際感覚ゼロだ。私たち10人も少女像によりそつて目がしらを熱くした。

竹内和夫

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか? 55



竹内和夫

ニホン語はむずかしい?(5)

B: フランス語には有名なliaison(連音、リエゾン)という音声連続の現象があつて、語末の子音とつぎの語頭の母音が1音節に連なって発音される。たとえば/il/(彼は il)と/e/(いる est)と/isi/(ここに ici)という3語の1文は、/i-le-ti-si/となつて、VとCVの音節ばかりになる。ニホン語やハワイ語のような印象をうける。

「(アメリカ)合衆国」をフランス語では、Les États Unis と書くけれど、個々の単語の発音/le/(冠詞の複数形)と/eta/(国、州の複数形)と/üni/(連合したの複数形)はリエゾンして/le-ze-ta-zü-ni/とCVばかりの5音節の句に変化するのである。

ついでに朝鮮語にもリエゾンがある。

「国語」という漢字語は/kug/と/o/すなわちCVCとVでなりたっているが、

/ku-go/と発音する(국어)。

C: 6言語の音韻についての数量的比較をまとめると: やさしいのはなに語?

	ニホン語	中国語	ハワイ語	西部アメリカ英語	スワヒリ語	フランス語
1 母音の数	5	6	5	7	5	11
2 子音の数	18	22	8	23	22	23
3 音節の種類	5	10	2	15	3	7

8月2日より3日間、戦争と女性の人権博物館、ナムの家と従軍慰安婦歴史館、独立記念館、西大門刑務所跡歴史館を訪問いろいろな事をおそわつてきました。

今回は従軍慰安婦問題を中心に報告します。日本軍は中国、朝鮮、台湾、フィリピンなどから12歳から17歳ぐらいの少女をさらつたり、工場につれていき仕事をさせた後に慰安婦としてしまつた。人数は5~20万人だつたという説がある。彼女たちは性奴隷として激しい性暴力を受けている。命を落とした者も多くいるそう。

1991年、金学順さんが最初に慰安婦だと名乗り出た、これは敗戦より46年もたつた後だつた。

日本政府は河野談話、村山談話で部分的にはこの事実を認めても加害の事実を認めようとしていません。ソウルの大使館前では1992年より日本軍慰安婦問題解決の水曜デモが1000回を超えて行われています。

ナムの家を訪問し帰り際に同行の者がハルモニに「お元気で」と握手を求めると、謝罪が先だ」と手を払われました。

ナムの家への日本からの訪問者も多い年には5000人をこえていたようですが、いまはその半分くらいです。岡山県議会でも修学旅行でナムの家に行くのは問題だ」という議員がいるそうです。恥ずかしい事です。

河井伸士

父が生まれた街 大連へ(1)

林潤

2013年8月22日

大連旅行

家族と私の父と大連へ旅行に行きました。

父が生まれた街をいつか訪れたいと思つていました。上の二人が小学生になつたのでいくらかでも記憶に残るでしょうし、一番したの子もまあ連れて歩ける位になつたので、今年、思いきつて出掛けることにしました。

家から駅へのタクシーに「デジカメラを忘れたり、大連について空港からホテルへの車が道の真ん中でストップして代わりの車に乗り換えたりと波乱のスタートでした。

片側5車線の道路の真ん中で車から降りて乗り換えるのはどきどきしました。

初日は、満鉄の本社ビルだったところやヤマトホテルといつかつて総理大臣や満州国皇帝



などが会議に使つたという古いホテルを見学しました。

満鉄の社員だつた祖父はヤマトホテルで披露宴をしたそうです。

今回は大連を何度も訪れている父にお店での通訳も任せきりで、おんぶにだつこの旅行です。

それでも子どもたちに「ハーオーシェイシェイ」は覚えさせました。



次回の新聞送付作業は9月11(水)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林和
竹内和
竹内和
坪井